正	誤	ページ	修正日
■G-9 地域遺産としての湧水湿価値 -中津川市岩屋堂における湿地と人々の関係に着目して - 李雅諾（筑波大学）、〇佐伯いく代（筑波大学）	■G-9 地域遺産としての湧水湿価値 -中津川市岩屋堂における湿地と人々の関係に着目して - 〇佐伯いく代（筑波大学）	9→11	8月16日
【23-30】田面水を被覆したプラスチックカプセルが水消費量，地表面温度，雑草量に及ぼす影響とそれらがイネ初期生育に与える効果 ◯高柳春希，西田隆義（滋賀県立大学）	【23-30】田面水を被覆したプラスチックカプセルが減水深および水田雑草量に及ぼす影響とそれらがイネ初期生育に与える効果 ◯高柳春希，西田隆義（滋賀県立大学）	2→4	8月16日
■ESC-9 グリーンインフラによる持続可能な地域づくりに関する可能性調査：金沢市の防災・環境・社会経済の統合に向けて 〇小島葉月（石川県立大学）、長谷川啓一（株式会社福山コンサルタント）、上野裕介（石川県立大学）	■ESC-9 グリーンインフラによる持続可能な地域づくりに関する可能性調査：金沢市の防災・環境・社会経済の統合に向けて 〇小島葉月、上野祐介（石川県立大学）、長谷川啓一（株式会社福山コンサルタント）	13→15	8月18日
■ESE-63 水田管理がナゴヤダルマガエルの越冬場所選択に与える影響 〇多田正和（岡山大学）、伊藤邦夫（倉敷市）、中田和義（岡山大学）	■ESE-63 水田管理がナゴヤダルマガエルの越冬場所選択に与える影響 〇多田正和、伊藤邦夫、中田和義（岡山大学）	7→9	8月19日
■G-29 広島県芦田川水系の農業水路におけるスイゲンゼニタナゴの選好環境 〇咸 成南、竹内和也（岡山大学）、竹下邦明（復建調査設計株式会社）、中田和義（岡山大学）	■G-29 広島県芦田川水系の農業水路におけるスイゲンゼニタナゴの選好環境 〇咸 成南、竹内 和也、中田 和義(岡山大学)、竹下 邦明(復健調査設計株式会社)	10→12	8月19日
【23-14】春夏秋冬：いつでも湿地にエゾシカが！ 〇吉田剛司、佐藤瑞奈、佐藤温貴、橋本寛治、吉田遼人、上原裕世、更科美帆、日野貴文（酪農学園大）	【23-14】春夏秋冬：いつでも湿地にエゾシカが！ 〇吉田剛司、更科美帆、菅野 慎、佐藤瑞奈（酪農学園大）、稲富佳洋、宇野裕之（北海道総合研究機構）	1→3	8月20日
【24-13】河岸高を考慮した川づくりの方法序説 〇渡辺恵三、岩瀬晴夫（株式会社 北海道技術コンサルタント）、卜部浩一（北海道立総合研究機構）	【24-13】川のかたちと河岸の自律・安定～河岸高に着目した最適な横断形の設定に向けて～（仮） 〇渡辺恵三、岩瀬晴夫（株式会社 北海道技術コンサルタント）、卜部浩一（北海道立総合研究機構）	3→5	8月20日
■ESE-59 北海道伊茶仁川に生息するアメマスの回遊履歴解析 〇鈴木享子（学芸大環境教育・東大院農）、笹栗麻優子（学芸大環境教育）、市村政樹（標津サーモン科学館）、吉冨友恭（学芸大環境教育）	■ESE-59 北海道伊茶仁川に生息するアメマスの回遊履歴解析 〇鈴木享子（東大院農・学芸大環境教育）、笹栗麻優子、吉冨友恭（東大院）、市村政樹（標津サーモン科学館）	7→9	8月20日
■G-28 石礫の露出高とアユの体サイズとの関連 〇小野田幸生（土木研究所）、堀田大貴（株式会社建設技術研究所）、萱場祐一（土木研究所）	■G-28 石礫の露出高とアユの体サイズとの関連 〇小野田幸生、萱場祐一（土木研究所）、堀田大貴（株式会社建設技術研究所）	10→12	8月20日
■G-33 階層的な空間スケールを明示化した河川性魚類の種分布モデリング 〇片岡大河（東京工業大学）、梁政寛（ベルリン自由大学）、吉村千洋（東京工業大学）	■G-33 階層的な空間スケールを明示化した河川性魚類の種分布モデリング 〇片岡大河、吉村千洋（東京工業大学）、梁政寛（ベルリン自由大学）	10→12	8月20日
■G-55 タイダル方式による水質浄化の可能性と課題 〇松下太郎、山下博康、渡辺敏（株式会社ウエスコ）、笹井隆秀（神戸市須磨海浜水族園）、山橋正明、松原啓充（豊中市都市基盤部）	■G-55 タイダル方式による水質浄化の可能性と課題 〇松下太郎、渡辺敏（株式会社ウエスコ）、山橋正明、松原啓充（豊中市都市基盤部）、笹井隆秀（神戸市須磨海浜水族園）	11→13	8月20日
■G-62 カヌースラロームコースの整備が水生昆虫に与える影響 〇岩田祥子（名古屋大学）、浦部美佐子（滋賀県立大学）、田代喬（名古屋大学）	■G-62 カヌースラロームコースの整備が水生昆虫に与える影響 〇岩田祥子、田代喬（名古屋大学）、浦部美佐子（滋賀県立大学）	11→13	8月20日
■G-64 国内河川における攪乱レジームが底生動物の多様性に及ぼす影響 〇渡辺裕也（愛媛大学）、吉村研人（水資源機構）、赤坂卓美（帯広畜産大学）、森 照貴（東京大学）、三宅 洋（愛媛大学）	■G-64 国内河川における攪乱レジームが底生動物の多様性に及ぼす影響 〇渡辺裕也、三宅洋（愛媛大学）、吉村研人（水資源機構）、赤坂卓美（帯広畜産大学）、森照貴（東京大学）	11→13	8月20日
■ESC-7 浸水想定区域内の法的土地利用区分に基づく地域類型 －農地が持つ洪水調節機能を活かせるか？－ 〇今井洋太、渡辺公次郎、鎌田磨人（徳島大学）	■ESC-7 浸水想定区域内の法的土地利用区分に基づく地域類型 －農地が持つ洪水調節機能を活かせるか？－ 〇今井洋太、鎌田磨人（徳島大学）	13→15	8月20日
■ESC-15 小面積化に対する林床性シダ植物の反応 名古屋市、大阪北部、京都市のデータセットから 〇村上健太郎（名古屋産業大学）、森本幸裕（京都学園大学）	■ESC-15 小面積化に対する林床性シダ植物の反応 名古屋市、大阪北部、京都市のデータから 〇村上健太郎（名古屋産業大学）、森本幸裕（京都学園大学）	13→15	8月20日
■ESC-29 全周魚眼スマートフォンカメラを用いた水生生物の遠隔モニタリング 〇藤本泰文（公益財団法人宮城県伊豆沼）、山田浩之（北海道大学）、嶋田哲郎（公益財団法人宮城県伊豆沼）	■ESC-29 全周魚眼スマートフォンカメラを用いた水生生物の遠隔モニタリング 〇藤本泰文、嶋田哲郎（公益財団法人宮城県伊豆沼）、山田浩之（北海道大学）	14→16	8月20日
■ESC-32 環境CSRとしての植樹活動による森林管理方策の構築と評価 ～茨城県常陸大宮市ピジョン美和の森を対象として～ 〇中尾宏（東京情報大学）、下嶋 聖、鈴木伸一（東京農業大学）、原 慶太郎（東京情報大学）	■ESC−32 環境CSRとしての植樹活動による森林管理方策の構築と評価 ～茨城県常陸大宮市ピジョン美和の森を対象として～ 〇中尾宏、原慶太郎（東京情報大学）、下嶋聖、鈴木伸一（東京農業大学）	14→16	8月20日
■G-900 Calcite and Biogenic Manganese Oxides on the Cell Walls of Charophyte *Chara braunii*: Formation and Arsenic Removal Function 〇Chihiro Takeuchi, Shahram Amirnia, Takashi Asaeda (Saitama University)	記載もれ	14→16	8月21日
■24-4 通し回遊型生物に対するダムの影響評価 〇鳥居高志、石水秀延、池原浩太（いであ株式会社）、座覇洋、平良譲治（内閣府沖縄総合事務局北部ダム統管理事務所）	■24-4 通し回遊型生物に対するダムの影響評価 〇鳥居高志（いであ株式会社）、石水秀延、池原浩太、座覇洋、平良譲治（内閣府沖縄総合事務局北部ダム統管理所）	3→5	8月25日
■ESE−17 京葉市川PA（下り線）室内休憩スペースにおける癒し空間の創出について 〇漆谷綾乃、小笠原秀治、苅部優子（株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング ）、元木 孝（東日本高速道路株式会社）、池田利行、細野哲央（千葉大学）	■ESE−17 京葉市川PA（下り線）室内休憩スペースにおける癒し空間の創出について 〇漆谷綾乃、小笠原秀治、苅部優子（株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング ）、元木 孝（東日本高速道路株式会社）	5→7	8月25日
■ESC-17 緑化シンボルとしての「市区町村の花・木」選定種の全国調査結果とGISによる空間的可視化の試行から 〇吉川慎平（自由学園）、渡部俊太郎（京都大学）	■ESC-17 緑化シンボルとしての「市区町村の花・木」選定種の全国調査結果とGISによる空間的可視化の試行から 〇吉川慎平（自由学園）、渡辺俊太郎（京都大学）	15	8月29日
■G-20 神流川における掘削路開削による洪水攪乱の誘発と礫河原の再生 〇久保田七海、丹野幸太（アジア航測株式会社）、近藤 誠、千葉 拓（高崎河川国道事務所）、清水義彦（群馬大学）	■G-20 神流川における掘削路開削による洪水攪乱の誘発と礫河原再生 〇久保田七海、丹野幸太（アジア航測株式会社）、近藤 誠、千葉 拓（高崎河川国道事務所）	11	9月3日
ポスター発表会場のES館エントランスとES館会議室を入れ替え。			9月5日
【24-4】通し回遊型生物に対するダムの影響評価 〇鳥居高志、石水秀延、池原浩太（いであ株式会社）、座覇洋、平良譲治（内閣府沖縄総合事務局北部ダム統合管理事務所）	【24-4】通し回遊型生物に対するダムの影響評価 〇鳥居高志、石水秀延、池原浩太（いであ株式会社）、座覇洋、平良譲治（内閣府沖縄総合事務局北部ダム統管理事務所）	5	9月6日
■G-900 Calcite and Biogenic Manganese Oxides on the Cell Walls of Charophyte *Chara braunii*: Formation and Arsenic Removal Function Chihiro Takeuchi, 〇Shahram Amirnia, Takashi Asaeda (Saitama University)	■G-900 Calcite and Biogenic Manganese Oxides on the Cell Walls of Charophyte *Chara braunii*: Formation and Arsenic Removal Function 〇Chihiro Takeuchi, Shahram Amirnia, Takashi Asaeda (Saitama University)	13	9月9日
■ESC-27 農地切り下げ面に再生した湿地植生の ポールカメラによるモニタリング 森本淳子、〇畔柳晶仁（北海道大学）、卜部 覚（ウラベ科学(株)）、鈴木玲（ひと自然つながり工房）、木村浩二、三輪哲哉（雪印種苗(株)）、志田祐一郎（(株)野生生物総合研究所）、岡 孝雄（アースサイエンス(株)）	■ESC-27 農地切り下げ面に再生した湿地植生の ポールカメラによるモニタリング 〇森本淳子、畔柳晶仁（北海道大学）、卜部 覚（ウラベ科学(株)）、鈴木玲（ひと自然つながり工房）、木村浩二、三輪哲哉（雪印種苗(株)）、志田祐一郎（(株)野生生物総合研究所）、岡 孝雄（アースサイエンス(株)）	15	9月14日